

奈良県立医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	加齢黄斑変性診療におけるコロナ禍の影響の検証
研究責任者氏名	辻中 大生
研究期間	研究実施許可日～2025年12月31日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名： 加齢黄斑変性 / 診療科名等：眼科
	受診日：西暦 2017 年 1 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の種類	<input type="checkbox"/> 試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 <input type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究目的・意義	加齢黄斑変性は長期にわたって、経過観察・加療が必要な疾患です。特に発症早期や活動期には、定期的に病状観察を行い適切なタイミングで治療を継続することが、視力を守るためには必要となります。 ですがコロナ禍のために病院への受診を躊躇される場合もあり、そのことが患者さんの不利益になった可能性もあります。本研究では、加齢黄斑変性診療におけるコロナ禍の影響を調査し、今後の対策への一助とします。本研究は奈良県立医科大学医の倫理審査委員会で審査され、奈良県立医科大学学長の許可を得て行います。
研究の方法	当院ならびに日本網膜疾患研究グループに所属する病院に、2017年1月1日から2021年3月31日に受診され、各施設で治療を開始された加齢黄斑変性患者さんが対象です。カルテ情報を通じて、年齢、性別、来院・治療のタイミング、治療開始時、治療開始後3か月目、1年、2年、3年目までの1年ごとの通院回数、治療内容及び回数、視力変化を検討します。加齢黄斑変性は時に両眼に発症しますので、両眼の情報を収集します。
外部への試料・情報の提供	本研究は多施設での情報を総合して検証します。当院で得られた個人データは匿名化し、データの提供は特定の関係者以外がアクセスできない状態で電子的配信によって行います。

研究組織	研究代表者：兵庫医科大学 五味 文 共同研究施設：日本網膜疾患研究会（J-CREST）に所属する以下の施設（研究責任者）（順不同、敬称略） 市立札幌病院（今泉寛子、青木修一郎） 徳島大学（三田村佳典） 奈良県立医科大学（辻中大生） 鹿児島大学（寺崎寛人） 名古屋市立大学（安川力・加藤重紀） 三重大学（松原央） 滋賀医科大学（澤田智子） 信州大学（平野隆雄・家里康弘） 東京医科大学八王子医療センター（安田佳奈子・新留 絵里菜） 聖路加国際病院（小沢洋子） 山口大学（湧田真紀子・木村和博） 久留米大学（春田雅俊・加藤喜大） 日本大学板橋病院（横田 陽匡） 筑波大学（村上 智哉） ツカザキ病院（山内知房・永里大祐） 神戸大学（三木明子）
個人情報の 取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする <u>生命科学</u> ・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する 連絡先	診療科名等：奈良県立医科大学 眼科学教室 担当者氏名：辻中 大生 [電話]（平日 10～16 時） 0744-22-3051